

#### 《選考合宿内容》

- 午後からは、体幹トレーニング、バランストレーニングも含めた内容で練習を開始しました。またシューティングドリルの中でも、試合で起こりうるシチュエーションをイメージすることで、身のこなしの方法やステップワークの必要性なども感じる時間となりました。
- 2日目最後の5対5では、個人個人のアピールの場として、白熱した攻防が繰り広げられました。選考合宿ということもあり、目の前の相手は同じポジションのライバルでもある選手。互いに競い合うことを忘れずにチャレンジしていました。

### 3. 総括

3回目のデフバスケットボール男子日本代表選考合宿ということもあり、互いのプレーの特徴を感覚的に把握している選手も多く、それぞれの強みを活かしてのプレーや裏をかいて意表をつくプレーなども出てきました。監督の指導も細かいプレーの要求や指示もあり、選手たちの中で確認のコミュニケーションをする時間を多く取りました。こうした相互理解を大切にしていくことが、デフバスケットボールの醍醐味だと感じました。

また選考合宿という中でも、個人のパフォーマンスだけではなく、チームでの動きを求められることによって、ゲームの質も向上してきたように見えました。東京デフリンピックまで残り8ヶ月、緊張を切らさず準備したいと思います。

ご協力をいただいた学校法人愛知江南学園誠信高等学校様、愛知県立守山高等学校様、会場選定に尽力をいただきました三宅様、顧問の皆様、誠にありがとうございました！